

いいのではないかということですが、下世話に言いますと、でき上がったものに対して、加えてくださいとなった中で、町民を守るために卑屈にならずに胸を張って、手を出していけるかということに疑問があります。であるなら、この合併の中で当初のメンバーとして主導権を握らずとも、ウエイトを占めた位置として今度の新しい諏訪市の中へ置くことの方が賢明、だという判断をしました。

Q 合併の判断材料として、町がやっていけないと言っているが、一人当たり、市町村県民税は富士見町20万3千円、交付税は13万7千円、合併すれば交付税が推計で6万3千円になるため、富士見町が有利に見えます。合併は交付税を減らすための国の押し付けに感じる。町が財政的に厳しいというのはどういわけですか。

A 合併しない場合のシミュレーションに幅があるように、確定的なものはありません。町の歳入の自主財源は一口で言うと30億です。その1/3位がひとつの企業に厄介になっています。4千世帯が平均的に30億の税負担をしている場合には、10年後でも今と同じことを考えてもいいけれども、企業に依存していることは、ありがたいことです。

が、町を預かるものとしては、備えをしておく必要があります。国のバブルという政策とその後のデフレとの政策のギャップを地方自治体は見せられましたので、そう楽天的な考えを自治体の責任者はするべきでないと考えます。1万5千5百の人が明日も安全であるかどうかという担保はきちんとして行かなくてはなりません。交付税でいつでも補填してもらえらるなら良いが、それが減ってきています。国が動き始めたなら我々は抵抗できない。決まったことに対し、個人で特定の意見やイデオロギーを掲げ歩くことはよいが、責任ある立場として、国が動くとき、町民にとって危険のない方向にもっていくことが、任期の間、私に課せられたことだと思います。

【6市町村以外の枠組み】

Q 富士見や下諏訪、原が合併しない方向となった場合、ご破算になるのですか。

A 考えておりません。改めて考えることになりました。一町長だけでお答えできません。お分かっていただきたいと思います。

【町長は】

Q 町長の合併に踏み切った事務的な要因ではなく、どんな夢を

持っているかを聞かせてほしい。**A** 私がどうしても譲れないと思うことは、日本でも、外国でも、行政は何ができるかということです。言い方が悪いかもしれませんが、この土地に暮らして、またはこの土地に移ってきて、精一杯生きて年を取っていく人が、安心して死ねるかどうかが、一生懸命仕事をする人のお手伝いをするのももちろんですが、それを続けてきた人が安心して死ねる場所となるか。そして、生れてきた子供が健やかに育っていくって、手を離しても自分で生きられるかどうか。自立心を持って自分で立ち上がれるまで育てることが、行政に携わるものの究極の仕事だと思っています。したがって、この仕事が一番やりやすい方法を取ります。

しかも、危険があるとすれば、その危険を避けたいということです。何のために町長になったのかと聞かれればそう答えます。大きくした諏訪市の中で、行政が力を尽くしていく方法を取りたいということです。**Q** 町長は合併後も、新市に関わっていくのですか。**A** 合併後も行く末を見守りたいし、私でない場合は、自分と同じ考えをもつ者を送りたいと考えています。

(意見) 昨年の住民投票条例制定

時には、具体的な合併に関する資料も殆んどなく、困惑したが、現時点では資料も出され、判断できるものが揃った気がする。町長から合併賛成の意思表示があつて良かった。合併するのが今の時代の選択に思える。

住民投票

Q & A

Q 投票運動は行えるのですか？

A 住民投票の運動は自由です。住民投票は、町民のみなさんの間で、幅広く議論いただくことが重要です。その意味から、投票運動については町民の良識に委ね、原則として自由としています。買収、脅迫など町民の自由な意思が拘束され、または不当に干渉されるものであつてはならないとしています。



12月7日(日) は住民投票の投票日です

富士見町がどんな選択をしたらいいのが。選ぶのは町民のみなさんです。

投票時間 午前7時から午後8時まで